

連続公開講座「礼拝と音楽～信徒のための教会音楽概論」(教室受講、オンライン併用) 4単位 金曜日

講師:坂本献、江原美歌子、小松澤恵、菊地るみ子、山中臨在、山下真実

なぜ礼拝に音楽が大切なのか。音楽は礼拝を盛りたてるためにあるのか、それとも礼拝において音楽が果たす意義や役割があるのか。あるとするなら、それは何か。私たちの信仰の基盤である聖書は、礼拝における音楽について何と語っているのだろうか。礼拝音楽について、その本来的な意味や役割、またその豊かさや礼拝音楽を通して与えられる主の恵みなどについて、すべての礼拝参加者と共に学びたいと願う。

・講師は可能な限り、茗荷谷教会内の神学校教室で授業を行います。ただ講師によっては在宅で講義される場合もあります。(コロナ危機の状況如何で変わる場合もあります)

・講義は通信ソフト zoom を用いて、オンラインで受講することもできます。受講生は教室受講、ライブ受講、ビデオ受講、教会共同受講の中から、自分に最適な受講方法を選ぶことができます。

参考資料

*「キリスト者の礼拝―神学と実際」(フランクリン M. セグラ、ランドル・ブラッドリー著、鳥山美恵 訳、キリスト新聞社)、定価 4,400 円+税(神学校事務局に申し込むと 3,500 円で頒布)

*「新生讃美歌ブックレット」(日本バプテスト連盟、500 円)

「説教演習」(教室受講、オンライン併用) 4単位 金曜日 内藤淳一郎

(1)「フィリピン人の信徒への手紙」を学ぶ。(2)「フィリピン人の信徒への手紙」からテキスト6かを選ぶ。①「釈義から説教へ」新共同訳聖書を使用するが、ギリシャ語聖書、他の聖書翻訳も参考に。聖書注解書は、神学校備えつけのものを利用できるが(ただし持ち出し禁止)、自分用の注解書を備えることが望ましい。②「説教演習と講評」(3)ウィリアム・ウィリモン「牧師」(新教出版社)を読む。

「礼拝音楽」(教室受講、オンライン併用) 4単位 木曜日 菊地るみ子

前半は「礼拝音楽とは何か」「礼拝音楽の目的」「聖書の根拠」「教会史における礼拝音楽の変遷」「教派による特徴」、後半は実践として、「バプテスト教会の礼拝における音楽の働き」「リーダーの役割」「プログラム作り」を学び、最終的に礼拝音楽の学びを言語化できるようにします。

「指揮法Ⅲ」(教室受講) 4単位 土曜日 山中臨在

基礎的な指揮法の復習と応用。少し難しい楽譜への対応。会衆賛美をリードする者としての指揮者の立場とその働き。上級聖歌隊曲の指揮と指導。オラトリオの指揮。

「作曲・編曲」(教室受講) 4単位 土曜日 十時節子

音楽の調性、メロディー、リズム、和声など作曲の基本を学んでいきます。編曲に関しては合唱曲への編曲、器楽曲への編曲、コンテンポラリーな音楽への編曲など、さまざまな音楽に対応できるスキルを習得していきます。また楽譜の書き方、できればPC音楽ソフトの使用方法も学べるようにしたいです。編曲・作曲の作品提出が必須。[テキスト]①新版 実用和声学―旋律に美しい和音をつけるために―中田喜直著/音楽乃友社、②教会音楽ハンドブックⅢ―岩坂憲和・大谷レニー・木村敏子・水口憲子・D・A モック共著/日本バプテスト連盟、③新生讃美歌

<受講形態の違いについて>

公開講座(神学特講)

神学校への入学・聴講手続きなしに、誰でも受講できます。後援会会員は公開講座に限り、半額で受講できます。また複数人が教会に集まり、教会で共同受講することも可能です。

オンライン受講

通信ソフト zoom を用いての双方向の授業を行います。この場合、講師・受講者が遠方の場合でも、自宅での授業が可能になります。また同時に授業を録画し、終了後、youtube で流しますので、その時間に不在でも、いつでも必要な時に授業を視聴することができます。

教室受講

茗荷谷教室に参加しての講師との対面受講です。参加できない場合は、オンライン受講、あるいは後日のビデオ受講でも、可能です。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp 検索

2020 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 ・入学・聴講手続きに必要な書類を当神学校に請求してください。(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要事項を記入の上、9 月 4 日(金)までに郵送してください。
* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)
* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。

【試験面接】 9 月 25 日(金)午後 6 時 30 分
* 入学・聴講面接
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】
10 月 2 日(金)午後 6 時 30 分 於:茗荷谷キリスト教会
* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・後期 10 月 5 日(月)～2021 年 3 月 5 日(金)
<冬期休業 12 月 14 日(月)～2021 年 1 月 2 日(土)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し 2 月 11 日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後 6 時 30 分～8 時 30 分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分

【入学金】 ・本科 100,000 円
・信徒リーダー養成コース 50,000 円
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000 円
* 後期の専攻科入学はありません。

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1 課目 4 単位 25,000 円、2 単位 12,500 円
・聴講生 1 課目 4 単位 30,000 円、2 単位 15,000 円
(* 卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

【設備費】 一律 5,000 円(半年間、前期に 10,000 円支払い済みの方は不要)

【通信受講】 通信受講の場合、4 単位当たり 5,000 円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある 1 課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。
・卒業生、連盟加盟教会牧師は 1 課目 4 単位 30,000 円が半額 15,000 円となります。但し単位は取得できません。なお、後援会会員は公開講座に限り半額で受講できます。

2020 年度後期 課目案内

2020 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	公開講座「教会学校論」	4	共通選択	矢野由美、坂元幸子、連盟教会教育室
月	教会史Ⅱ(宗教改革～現代)	4	共通選択	坂本誠
火	公開講座「キリスト教倫理～倫理と実践」	4	共通選択	吉田真司、連盟特別委員会
火	ヘブライ語中級	4	専攻科必修	村中範光
木	神学特講「旧約釈義～イザヤ書を読む」	4	共通選択	城倉啓
木	神学入門～なぜ今神学を学ぶのか	4	共通選択	松村誠一、田坂元彦
金	連続公開講座「教会音楽概論～礼拝賛美の活性化のために」	4	音楽本科必修 本科共通選択	坂本献、江原美歌子、小松澤恵、菊地るみ子、山中臨在、山下真実
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	合唱(休講)	2	音楽科必修	山中臨在
木	礼拝音楽	4	音楽本科必修	菊地るみ子
土	指揮法Ⅱ(休講)	4	音楽本科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅲ	4	教会音楽専攻科	山中臨在
土	作曲・編曲	4	教会音楽専攻科	十時節子
	教会実習・卒業論文	6	専攻科必修	
冬期	冬期公開講座「ヨブ記を読む」	2	2020.12.28～29(予定)	月本昭男(上智大学教授)

- ☛「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。
- ☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

＜東京バプテスト神学校 後期開講方針＞

後期授業は 10 月 5 日から始まりますが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、受講者の通学リスク・教室リスクを減らすことが求められています。そのため、後期においては、教室受講を一部制限し、通信受講(ライブ通信、ビデオ通信)を併用することにいたします。

- ・前期授業は 9 月まで全授業をオンライン授業にした。
- ・非常事態宣言終了後の感染防止方針では、「集会等は定員の 50%以下、100 名以下」にするよう求められており、10 月から始まる後期授業は、一部教室受講を認めるが、感染リスクを考慮し、人数は制限する。三密を避けるために、夏期講座等の礼拝堂使用の場合は対面受講を 40 人以内に、201 教室(公開講座)は 10 名以内に、202 教室受講は 5 名以内に制限する。
- ・ただ通学リスク・教室リスクは残るので、講師は茗荷谷教室での講義を原則とするも、遠隔地その他の事情ある場合は、在宅講義を選択することもできる。
- ・後期通信料は前期同様、1 科目 5 千円に減額する。
- ・対面授業を必要とする教会音楽科授業は感染リスクを避けるため小規模に分散して行う。また必要があれば通信授業も併用する。
- ・ただし、第二波、第三波等の感染流行が再開した場合は、いつでもオンライン授業に戻れるよう準備する。
- ・事務局は原則出勤し、講義終了後、講義内容を録画してビデオ配信を行う。

「公開講座:教会学校論」(オンライン受講) 4単位 月曜日 矢野由美、坂元幸子、連盟教会教育室
2020 年は、「聖書教育」が 70 年を迎えた年です。連盟の教会学校はこの「聖書教育」と共に歩みを進めてきました。聖書を中心におき「共同学習」「相互牧会」等々の大切さと合わせて今年度新プログラム「聖書教育」の編集に携わっている講師陣の発題を聞き、それぞれの教会学校の様子を分かち合いながら教会学校について語り合い学び合う機会としたいと願います。とりわけ今年度は、新型コロナ感染症の影響を受け、諸教会は様々な形で集会のあり方を模索しておられると思います。そのような中でインターネット通信を用いた教会学校の新しい取り組みも紹介します。

「教会史Ⅱ～宗教改革から現代へ」(教室受講、オンライン併用) 4単位 月曜日 坂本誠
本講義では「宗教改革」から「現代」までのキリスト教史を学びます。教科書はフスト・ゴンザレス『キリスト教史下巻』、宗教改革から現代まで、石田学、岩橋常久訳、新教出版社、5500円を用います。宗教改革では「ドイツ、スイス、イングランドの宗教改革」を学び、次に「正統主義、合理主義、敬虔主義」を学び、19世紀～20世紀にかけて、プロテスタント、カトリックがどのように変遷していったのかを学びます。36節を15回にわけて読破しつつ、発表していただきながら授業を進めていきます。

「公開講座:キリスト教倫理」(オンライン受講) 4単位 火曜日 吉田真司、連盟特別委員会
「実践神学としてのキリスト教倫理」、とりわけ隣人愛の実践としての連盟七特別委員会の宣教の視点と働きについて学ぶ講座を計画しております。具体的には日本バプテスト連盟の七つの特別委員会、「障がい者と教会委員会」、「靖国神社問題特別委員会」、「公害問題特別委員会」、「日韓・在日連帯特別委員会」、「部落問題特別委員会」、「ホームレス支援特別委員会」、「性差別問題特別委員会」から、委員長または委員が講師として、宣教の視点からどのような活動を行い、どのような問題意識をもっているかを講義されます。なお公開ですから、神学校学生だけでなく、諸教会の信徒の方も入学手続きなしに受講できます。また個人参加だけでなく、教会共同受講の形でも参加できます。今回の講義はウィルス感染防止のために、通信アプリ ZOOM を用いて web で行います。

「ヘブライ語中級」(教室受講、オンライン併用) 4単位 火曜日 村中範光
ヘブル語中級では、イザヤ書 1 章～2 章を読みながら、初級で学んだ文法の復習と韻文の特徴を学びます。初級を既に学んだ方には、3節づつ発表する機会が与えられます。また後半では釈義の学びに入ります。
・テキスト(ヘブル語): イザヤ書 1 章～2 章(最初の授業で配布) / ・文法書:「聖書ヘブライ語文法改訂版 小脇光男(著) 青山社 3,024 円 / ・聖書のサイト:biblehub / ・参考図書:J-bible 2017 12,000 円、J-bible ヘブライ語版 19,800 円

「神学特講:旧約釈義～イザヤ書を読む」(オンライン受講) 4単位 木曜日 城倉啓
預言書はとっつきにくいものです。イザヤ書は最大の預言書。いったい何が書いてあるのか、どうして 66 章もの大分量になったのか、同じ内容が旧約聖書の他の箇所にもあったり、新約聖書に引用されたりもしています。クリスマスの季節には決まった箇所が「メシア預言」として用いられていますが、全然読んだことのない聖句も多くあります。正典であり古典であるイザヤ書 66 章を通読し、現代の課題にひきつけて読み解いてみませんか。

「神学入門～なぜ今神学を学ぶのか」(教室受講、オンライン併用) 4単位 木曜日 松村誠一、田坂元彦
神学入門は、これから神学校で学ぶ学生を対象に“神学校で何を、どのように学ぶのか”を確認します。そして歴史の中で受け継がれて来たキリスト教信仰がどのようなものであったのか、その時代時代の特徴、また教理について概観します。参考書はミラード・J・エリクソン著の「キリスト教教理入門」、川端光生著「三つのテーマで読む聖書」です。